

平成25年度第1回小牧市休日急病診療所運営協議会 議事録

【日 時】平成25年8月22日(水) 14時～15時00分

【場 所】保健センター 大会議室

【出席者】委員11名(敬称略)

後藤恒規、菱田直基、平尾亮人、舟橋国博、木村隆、末永裕之、沖本一治、
丹羽俊治、舟橋武仁

高木康司代理平手雅人、木全勝彦代理河田稔

事務局 5名

廣畑健康福祉部次長、江崎所長、千葉係長、山中主査、直井主査

欠席 委員1名 吉田雄一 (敬称略)

【次第】

- 1 あいさつ
- 2 新委員紹介
- 3 報告
 - (1) 平成24年度小牧市休日急病診療所事業報告について
 - ア 診療状況について
 - イ 収支状況について
- 4 その他
- 5 閉会

【議 事】

1 あいさつ (廣畑健康福祉部次長)

2 新委員紹介

(司会)

これより議事に入りますが、会長に議事の取り回しをお願いしたいと思います。

(会 長)

それでは、議事に入らせていただきます。

報告(1)「平成24年度小牧市休日急病診療所事業報告について」です。お手元に配布してあります資料に基づいて説明をお願いします。

(事務局) 資料 P5からP8

(委員) 資料 P9からP14

(委員) 資料 P15

(事務局) 資料 P16

(会 長)

報告が終わりました。ただいまの説明で質問がございましたらお願いします。

忌憚のないご意見をお聞かせください。

私の全体的な印象としてはそれなりに順調にいておるのではないかと思うし、小牧の地域医療のプライマリーケアを担う分野としては市民の支持も得られているし、今後さらに発展させていきたいと思う。

何かそれぞれの項目についてどんなことでもいいですが、何かありませんか。

(委員)

この資料は内部資料ですか、市民へ公開されますか。資料の11ページですが、表4のところで「伝染病」とありますがかえていただきたい。

(事務局)

資料の9ページから14ページまではデータで持っていないためホームページで公開ができません。今の伝染病の部分についてはホームページ上で掲載できません。11ページの資料については医師会のほうで毎年「医報」としてまとめていただいております。そこから今回コピーをさせていただいております。公開させていただくのは保健センターの事務局で作成した部分であります。

(会長)

これについて、公的などころへ出す名前ではないということですか。

(委員)

今は基本的には伝染病というのは用語そのものとして使っておりません。

(会 長)

わかりました。貴重なご意見ありがとうございました。

(委員)

そうしますとこの伝染病にくくられているこの人数にはどういう疾患が含まれているのですか。

(委員)

受診時に医師のほうでこの病気はどのような病気かというのを分類する表があるんですが、そこでどうしても分類していかなければいけない。たとえば、手足口病とかなんらかの感染症なども入ってくると思います。伝染病というちょっと語弊があるかもしれませんが主な感染症なども含んでいると思います。

(会 長)

そのデータはそのときに診た医師が書いているけど、その分類項目を考えておくべきということですね。

(委員)

内容によって云わんとすることはわかるんですが、いわゆる伝染病疾患というんですか感染症だと思ってしまうんですけど、伝染病という言葉が少しひっかかるので申し上げました。

(会 長)

わかりました。今後は検討してその分類に関して少し考えてみたいと思います。

我々もプライマリーケアを担っているのですが我々が紹介する先の小牧市民病院はよろしいですか。

(委員)

特別なことはありません。こうしてみても休日急病診療所がそれなりに機能していただいているなど我々としてはありがたく思っています。

これとは別に他のことで少しよろしいでしょうか。小児科が非常に多いということで内科の先生が手伝うとか、インフルエンザが流行したようなときは外科の先生が手伝ってみるとかという話しがでていたと思いましたが、そのあたりは今はどういうふうですか。落ち着いていますか。

(会長)

理事会でいろいろ検討しまして今年の4月から少し診療体制を改めました。今まで様々な議論がありまして一部の科は削ってもいいのかという極論的な案もでましたが、基本的に我々はプライマリーケアだと思っています。それとインフルエンザがはやっているときは内科系外科系と二つにわけたものではなくて、プライマリーケアということで忙しいときは内科系外科系の医師が一体と機能するように変えました。内科・小児科に関してですが現実に実際の地域では内科系の医師も保健所にいっしょに届けを出して日頃小児科も診ていると思うので、主として内科を標榜している医師の中でも小児科をよく診ている先生とあまり診ていない先生と二つに分けて、小児をたくさん診ている先生はそういう人数が多いときに入ってもらおうということで内科系の医師を2グループに分けて適切な時期に適切な人があたるというように今年の4月からかえています。それがうまくいくのかどうかわかりませんが前年度より少し進歩したことだと思っています。我々はたとえば子どもの最後の治療までするのではなくて、プライマリーなことを診断してそれ以上たいへんなことは二次医療機関にあとはおまかせするという事なので、なるべく診療所の中に2人医師がいて分担してやるという考えでやっていきたいと思っていますし、忙しい時期にはなるべくたくさん小児科をみている医師を配置していくような体制にしました。この区分は何か客観的なデータがないといけないのですが、たとえば小児科を標榜しているか、していないかとか、予防接種の数をどれくらい行なっているかなどをみて二つに分類しているということです。

(事務局)

先ほど資料の公開の話がありましたが、先ほどの説明の中で休診の利用状況については事務局の資料ですのでホームページで公表させていただきますということでお答えしましたが、医師会の先生からの休日急病診療所についてという資料についてですが、この会議自体が公開となっておりますので会議録等も公開しますし、資料全てが公開ということになりますのでお願いします。

(会長)

全てが公開だから会議の際に不適切な言葉ではいけないとそういうことですね。先ほどのことに関しては次回までに考えるということで返事をしたいと思います。

(委員)

データをみますと3回ほどお世話になっているようです。休日急病診療所ができる際に救急車が利用できる構造にしてくださいとお願いした経緯もあります。二次病院、三次病院に搬送することが多いのですが、市民病院も近隣の二次病院もどうしても受け入れが困難なときには日曜日にはお願いをするような形ではありますが、これ以上増えるということはないかとは思

います。二次病院へ紹介をしてというときで休日急病診療所から市民病院、春日井市民病院へ搬送するのに救急車を呼ばれることもあるわけですよ、この3件というのは救急車できた方が3名ということですか。医師の判断ですぐに二次医療機関や三次医療機関へ搬送するものについて救急車を呼ばれているという事案もあると思うんですがそういうデータはないんですか。

(会長)

それは基本的にこの休日急病診療所で医師が診てたいへんだという場合は市民病院へ連絡して救急車を呼んでいると思いますよ。

(委員)

うちのデータで調べればできるんですが 6,000 件以上あるので今データを持ってきていませんが、使っていただければ結構です。

(委員)

患者さんのほうから何か休診を利用されて意見がでていたりすると思いますがそのあたりはどうなんでしょうか。問題なくすんでいっているんですかね。

(事務局)

昨年度は特にありませんでした。もしでしたらその都度診療所長のほうにご連絡さしあげ対応していただいております。

(委員)

歯科医師会のほうから今出た話しとは全く別の話しですが、レセプトコンピューターですが年々再リースをかけるという方法をとっていますが、今年度は再々リースで 2 度目の再リースということになるので来年度においては新しいものを購入していただきたいと思っておりますのでそのお話をさせていただきました。

(事務局)

その件に関しては事務局の方から話を伺っております。見積書等を出してもらいながら少し説明をいただき考えていきたいと思っております。

(委員)

今歯科診療で使っております診療台ですが 9 年ほどたっております。状態は非常にいい

状態で使わせていただいております。修理の履歴をみても6件ほどしかありませんのでコンディションとしてもとてもいいんですが、通常歯科のチェアですと耐用年数が7年ということでそれを現時点で2年すぎているので今後いろいろ修理等が重なってきたときに新しいチェアの買い替えというのが将来的にくると思いますのでそのときはお願いしたいと思います。

(会長)

よくわかりました。承りました。

他にありませんか。以前は収支のことがありましたが少し改善されてきていますが何かありませんか。

(委員)

平成20年度の休診の利用された方が少なかったという中で費用対効果という問題がでてまいりまして、平成21年度この休診の会議の中でも改善していこうということで三師会のご了解の中で人件費を含んで経費の見直しにご協力をいただきました。そういった中で22年度以降全てが黒字ということではありませんが費用が一時期と比べますと市の持ち出し、税の持ち出しが軽減されています。私たち管理をする側からみますと大変好調というのか落ち着いた状況でありがたいことです。平成21年度新型インフルエンザが猛威をふるった時期のように患者が増えると持ち出しが少なくなるというしくみにはなっていますが、疾病がない発症しない状態が一番いいわけではあります。そんなわけにはいきませんので、今お話しがありましたようにプライマリーケアで休診が担っている休日の一次医療の提供先ということで市民の方に定着しているので引き続き三師会の皆様方にご協力いただきながら必要に応じて三師会の考え方を取り込み、見直すべきところは見直しこの休日急病診療所の運営を担っていきたいと考えているところです。

(会長)

先ほど申しあげましたように4月から医科のほうで一部診療提供体制を強化したこともありまして、人件費がまた少しかかるかもしれませんが量的なことも当然ながら質的なものも考えていかなければいけないかなと思います。休診単独ではなくて小牧の地域医療全体の中でのゲートキーパーのような役割を果たしていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

(委員)

7ページの資料の平成21年度の数字が違っているのではないですかね。平成21年度の合計は4,816ではないですか。

(会長)

事務局どうですか。21年度の受診者数の合計が少ないのではないかとのことですね。

(事務局)

すみません、違っております。4,816が正しいです。

(委員)

昨年3月まで市民病院の事務局長をやっておりました。市民病院は重篤な患者さんが多いので、そういう中で休診のほうでこれだけやっていただいているということは感謝しております、ありがとうございます。

(会長)

市民病院のほうでも宣伝してもらっていますからね。小牧の広報誌でもキャンペーンのような形で載せてもらっていますのでこちらのほうでもありがたいことだと思っています。

薬剤師会のほうで何かありますか。たとえば将来的に院外処方にしよと思ったら対応できるのでしょうか。

(委員)

休日に対応している薬局があれば可能なんですがなかなか難しいところも現実にはあると思うので現行の中で処理するのが適切なのではないかと思います。

(会長)

その他事務局から何かありますか。

(事務局)

休日急病診療所は内科・小児科・外科・歯科の診療を行なっておりまして、産婦人科に關しましては平成23年度まで春日井と小牧の産婦人科医院で輪番で一次医療を行なっていたいただいております。そんな中で平成23年度に春日井市産婦人科医会より廃止の方針が打ち出されまして小牧市の産婦人科医会の中でもいろいろご検討をなさって、小牧だけではなかなか難しいということで廃止の方向に向かっていきました。そんな中で市民のみなさんのこの産婦人科の休日の一次医療の実施をどうしていったらいいのかをこの協議会の中で平成23年度1月に急遽集まっていたいただきましてご検討いただきました。産婦人科の在宅で行ってきまして実績をみますと婦人科に關しては市民病院で対応可能ではないかというご意見、産科においては救急搬送はほとんどかかりつけ医へ搬送されているというようなことで、廃止しても市

民サービスには支障がないのではないかという判断をこの協議会の中でしていただきました。市民の要望が強くあれば再開を検討しますということで平成23年度1月のこの協議会の中で方向性がだされました。それを受けて平成24年度からこの産婦人科の在宅当番医による一次救急はなくなって一年がすぎましたが市民のみなさんから要望等は保健センターには入っていません。市民病院の産科のほうでも特に何か問題があるということはありませんでしたでしょうか。

(委員)

病院のほうでは聞いておりません。

(事務局)

ありがとうございます。今こういう状況ですのご報告をさせていただきました。

(会長)

今の報告に関してまた全体に関して何かありましたらどうぞ。

(委員)

産婦人科のことを話されましたがその経過は存じておるんですが、一方で周産期新生児問題で対応しておりましたときに未受診妊婦という問題がありまして、今その対応を名古屋市西部医療センターに集中しているということで西部医療センターの先生からこれについてなんとかしてほしいという事案がございまして、そのことに関しては春日井市民病院のほうにはお願いをさせていただきました。

(会長)

以前春日井小牧にはコロニーがあったんですがあそこが新生児の扱いを中止したことがいまでも非常に大きな問題になっているんじゃないかと思いますが。その代わりに西部医療センターという経過があってやっているということですよ。

(委員)

西部医療センターもここ2・3年はいろいろ話し合いまして大丈夫だということである程度目途はついているんですけどそれ以降に関して見通しが立っていません。

(会長)

そうすると春日井小牧地区にたとえば新生児の専門医院を作るというのはないんですよ。

(委員)

小牧市民病院は NICU が管理料2になっているので今後新しい病院を作られることにあたりまして先生からお話しは聞いているのですが今後の問題かと思えます。

(会長)

その他ありませんか。

以上をもちまして終了したいと思います。